

## 《競技（フェスタ含む）用 競技説明・注意事項等》

### 一日の流れ(あくまでもめやすです)

#### 【競技】

05:30頃 各チームで集合  
06:00～ タスクフリーフィング(久保田)  
(ボランティアは会場外で待機)  
～06:15 朝食の配布  
07:00～ 【競技フライト】(立ち上げ、チェイス)  
～11:30頃 競技終了後、回収、ガス充填など  
  
14:30～ タスクフリーフィング(久保田)  
(ボランティアは会場外で待機)  
15:30～ 【競技フライト】(立ち上げ、チェイス)  
～18:00頃 競技終了後、回収、ガス充填など。  
⇒解散

※ 11月4日(土)、5日(日)は夜間係留を予定  
(19:00～21:00頃)  
立ち上げ、係留、回収、ガス充填等 手伝い

※ 競技の場合、離陸地点やマーカーを落とすゴール  
地点が河川敷会場外の場合があります。  
(着陸地点は必ず会場外です。)

#### 【競技(フェスタ)】

05:30 各チームで集合  
06:00 タスクフリーフィング(久保田)  
(ボランティアは会場外で待機)  
～06:15 朝食の配布  
07:00～ 【競技フライト】(立ち上げ、チェイス)  
～11:30頃 競技終了後、回収、ガス充填など  
  
14:30～ タスクフリーフィング(久保田)  
(ボランティアは会場外で待機)  
15:30～ 立ち上げ、チェイス  
～18:00頃 競技終了後、回収、ガス充填など。  
⇒解散

※フェスタは、午後は競技がありません。  
チームがフリーフライトをする場合は、お手伝い  
お願いします。

<<< 注意 >>>

上記スケジュールは変更の可能性あります。

## 大会中、大会前後の主な移動先（電話番号はカーナビ利用にのみお使いください。）

- ・ 大会競技本部（競技のブリーフィング会場）  
久保田農村環境改善センター  
住所：佐賀市久保田町新田 3323-3
- ・ ローンチサイトブリーフィングテント（フェスタ・ファンタジアのブリーフィング会場）  
河川敷南側テント  
※ 駐車場はCパス用、A・Bパス用に分かれています。
- ・ 山代ガス（LPG 充填所）  
住所：佐賀市鍋島町八戸 2153-1      TEL：0952-25-1273
- ・ 機材倉庫  
住所：佐賀市兵庫南 4-22-40

## 競技(フェスタ含む)気球チームの動き

- ※ 但し、フェスタは、午前中1タスクのみ、午後はフリーフライトとなり、オブザーバーもつきません。  
これからの内容は、参考までにご覧下さい。

競技ドライバーの簡単な一日の流れは1 ページ目のとおりですが、競技の内容や地上クルーの動きを知っておくと競技をもっと楽しむことができ、またチームが何をしようとしているかの理解に繋がります。

ここでは、競技についてもう一步踏み込んだ内容と、チームの動きを説明します。

まず、競技の内容について別紙「タスクの楽しみ方」をご覧ください。

気球の競技は、1回のフライト（離陸～着陸）の間にひとつ以上のタスクをこなし、期間中の全てのフライトで得た総得点で競います。多くのスポーツと同じく、総得点が最も多いパイロットが勝者となります。

ひとつのタスクの最高得点は1,000点で、採点の方法はタスクの種類にもよりますが、代表的なものでは、目標に最も近くマーカーを投下したパイロット（JDG、PDG、FIN、FON 等多数）、ある2点間の距離（例えば離陸地点とマーカー投下地点）が最も離れているパイロット（マキシマムディスタンス）、飛行中に最も鋭角に進行方向を変えたパイロット（エルポー）、が各タスクでそれぞれ1,000点を獲得し、その他のパイロットは結果に応じて算出された点数を獲得するという仕組みになっています。

例) 第一フライト（午前の競技）

離陸 ～ タスク#1 JDG (800点) ～ #2 PDG (750点) ～ #3 HWZ (1,000点!) ～ 着陸

第二フライト（午後の競技）

離陸 ～ #5 FIN (650点) ～ #6 JDG (923点) ～ #7 FON (125点) ～ 着陸

また、離陸には、全気球同じ場所からの一斉離陸と、パイロットが個別に離陸地点を選定して飛び立つ個別離陸とがあり、これは当日の風の状況等によって決められます。（フェスタは河川敷からの一斉離陸のみ）

これらのタスクの内容・離陸方法の選択は、当日競技委員長が決定し、フライト前のタスクブリーフィング（フライトと競技に関する会議）で全パイロットに通知されます。

多くのフライトでは、チームの主な動きは以下のようになります。

1. タスクブリーフィング出席（パイロット、クルーチーフ）
2. 離陸地へ移動 ～ 離陸準備 ～ 離陸 ～ 気球追跡開始
3. タスク設定地へ移動・風情報をパイロットに伝える
4. 次のタスク設定地へ移動・風情報をパイロットへ伝える。タスクが続く限り繰り返す。
5. 着陸 ～ 気球回収
6. 投下マーカの計測
7. 競技本部帰還 ～ 採点の準備（パイロットとオブザーバー [記録員]）
8. LPG（燃料）の充填
9. 休憩、次のフライトに備える

各項目の、さらに詳しい内容、競技ドライバー・クルーボランティアさんの動きは以下のようになります。

### 1. タスクブリーフィング

決められた時刻に集合場所へ赴き、チームと合流してください。前日（10/30）までに、連絡がとれなかった場合、久保田農村環境改善センターの待ち合わせ場所（ボランティアテント）で待機してください。

タスクブリーフィングにはパイロットとクルーチーフのみ出席できます。タスクブリーフィングが終了するまでクルーと待機しててください。トイレ等はタスクブリーフィング開始前に済ませておくことをおすすめします。

タスクブリーフィング終了後、急いで移動を開始する場合がありますので、チームから離れないようにしておいてください。

### 2. 離陸

<一斉離陸の場合>

離陸地（河川敷）に移動 ～ 気球の離陸準備 ～ 離陸 ～ 気球追跡開始

<個別離陸の場合>

離陸地の選定（パイロットが離陸地を決め、移動します。時々車を止め、「パイバル」と呼ばれるヘリウム入り風船を飛ばして風を観測し、場所の変更を繰り返すときがあります。）

離陸地決定 ～ 地主探し・土地使用許可取得 ～ 離陸準備 ～ 離陸 ～ 気球追跡開始

※ 個別離陸で地主さんを探したり土地使用のお願いをしたりする際にクルーから頼まれたら、ご協力をお願いします。

### 3. 気球の目的地へ移動

パイロットが個々に選んだ目的地（ゴール [道路の交差点]）の場合や、競技委員長が指定した目的地（ターゲット [大きなバツテン]）の場合等があります。

気球を見ながら、また無線で連絡を取りながら移動します。風が穏やかなときは気球より地上クルーが先に目的地に到達することができるでしょうが、風が速いときは間に合わないでしょう。

目的地に到着したら、クルーはパイバルを飛ばして風を観測したり他の気球の動きを見たりして、パイロットに風情報を伝えます。その情報を元に、パイロットはゴール／ターゲットにアプローチ、マーカーを投下します。

採点の都合上、パイロットがマーカーを投下する所を車に同乗しているオブザーバーに目撃させるために、地上クルーはドライバーに気球の動きに合わせてゆっくり運転させたり、停止させたりするかもしれません。

また場合によっては、途中で目的地に行くことをやめて投下されたマーカーの確認へ向かったり、その次の目的地に向かったりすることもあります。

いずれにせよ、安全運転に努めながら、クルーの指示に従って走行してください。

#### <目的地が、パイロット自身が定める個々のゴールの場合>

到着したら、クルーの指示に従って車を停めてください。ゴールを通り過ぎて離れた所に車を停めるよう指示されることもあります。

マーカーが投下されたら、先に計測を済ませて次へ向かう場合と、目印をつけて次の目的地へ向かう場合とがあります。クルーの指示に従い、行動します。

※ 他チームも同じゴールを目指している場合があります。採点に関わるので、投下されるマーカーは、触ったり車で走行中に踏んだりしないように注意してください。

#### <目的地が、競技委員長が定める指定のターゲットの場合>

ターゲットには蛍光ビブスを着た計測チームが配属され、彼らがマーカーの投下確認・計測を行い、クルーはターゲットには近づくことはできません。やや離れた所からパイバルを飛ばしたり、風の情報をパイロットに伝えたりします。

※ ターゲット付近の道路は、特に他チームの車で混雑します。一般の方の通行の妨げにならないよう留意して車を停めてください。可能な限り道の両側に停めることは避けてください。

4. タスクが続く場合、3. と同様のことを繰り返します。

#### 5. 着陸

気球の着陸後、回収を行います。回収と同時に、または回収後に、着陸地の地主さんを探しに行きます。挨拶およびオブザーバーレポートシート（飛行記録書のようなもの）にサインして頂くため、オブザーバーが同行します。クルーから頼まれたら、地主さん探し、挨拶にご協力をお願いします。

#### 6. 投下マーカーの計測

気球回収後、先のタスクでゴール付近に投下したマーカーの計測に向かいます。投下時に計測が終わっている場合や、ターゲットで計測チームが計測を行う場合等、該当しない場合もあります。投下地点までの移動は、パイロットやクルーの指示に従ってください。

目的地に到着したら、オブザーバーの指示のもと、クルーが計測作業を手伝います。この際、自チーム・他チームのものに関わらず、落ちているマーカーに触れないでください。

必要なマーカーの計測と回収が全て終わると、久保田の競技本部に帰還します。

## 7. 競技本部帰還

本部に帰還すると、採点準備の為に、オブザーバーがレポートシートに必要な事項を書き込み、パイロットがサインします。同時にパイロットはGPSを本部に提出します。

クルーはこの一連の作業が終わるまで待機します。

## 8. LPG（燃料）の充填

次のフライトに備えてLPGの充填に向かいます。充填所は山代ガスです。充填所では火気厳禁、職員の指示に従ってください。

## 9. 休憩・次のフライトに備える

チームによって時間の過ごし方は異なります。午後または翌朝の集合場所・時刻を確認して、解散してください。

※ 運転できない国のチームを担当されている場合は、必要であれば引き続き同行をお願いします。

## 最後に

以上が、競技のボランティア（ドライバー・クルー）の一連の動きになります。ここで示したことだけでなく、突発的なことも発生するかも知れませんが、臨機応変に対応をお願い致します。

常に安全第一で、困った時はボランティア担当に連絡してください。

また、地元の方の協力と理解において大会が成り立っていることを忘れずに行動して下さるよう、お願いします。

みなさまのボランティア参加としてのご協力と大会へのサポートに感謝し、気球のことをより少しでも知って頂き、楽しんで頂ければ嬉しい限りです。